

令和7年11月市議会 教育厚生委員会資料

第221号議案 (仮称) 長崎市南部学校給食センター整備運営事業に係る
契約の一部変更について

目次	ページ
1 事業契約の一部変更について	2
2 概要	3
3 変更の内容	3~8
4 スケジュールへの影響	9

教育委員会
令和7年11月

1 事業契約の一部変更について

事業名	(仮称) 長崎市南部学校給食センター整備運営事業	
契約金額（税込）	当初契約金額	6, 568, 197, 099円
	変更額	419, 152, 675円
	変更後契約金額	6, 987, 349, 774円
契約変更の理由	学校給食の配送校を新たに追加すること及び杭工事の変更により、運営費等を増額する必要が生じたこと等に伴い、契約の金額を変更する必要があるため	
相手方	長崎市興善町2番8号 PFI長崎市スクールランチ 株式会社 代表取締役 脇本 実	
契約期間	令和6年3月15日（議会の議決を得た日）から令和23年7月31日まで	
事業概要	設計業務、建設・工事監理業務、維持管理業務、運営業務	

2 概要

事業を進めるなかで、三和地区の5校（蚊焼小学校、為石小学校、晴海台小学校、川原小学校及び三和中学校）を新たに（仮称）長崎市南部学校給食センター（以下「南部学校給食センター」という。）からの配達校とすること及び杭の支持地盤が当初想定より深いことが判明したことによる杭工事の変更に伴い、施設整備費、運営費等に変更が生じたことにより契約金額を増額する必要がある。

令和7年9月市議会において債務負担行為に係る補正予算が議決され、令和7年10月15日付で仮契約を締結している。

3 変更の内容

(1) 三和学校給食共同調理場（三和地区の5校）の取込み

ア 概要

南部学校給食センターについては、事業者募集時点で令和8年度の食数を推計し、調理能力である4,000食/日の範囲内となる18校（小学校8校、中学校10校）を配達対象校とし、三和地区の5校は当面、三和学校給食共同調理場から配達し、食数の推移を見ながら南部学校給食センターへの取り込みを検討する計画であった。

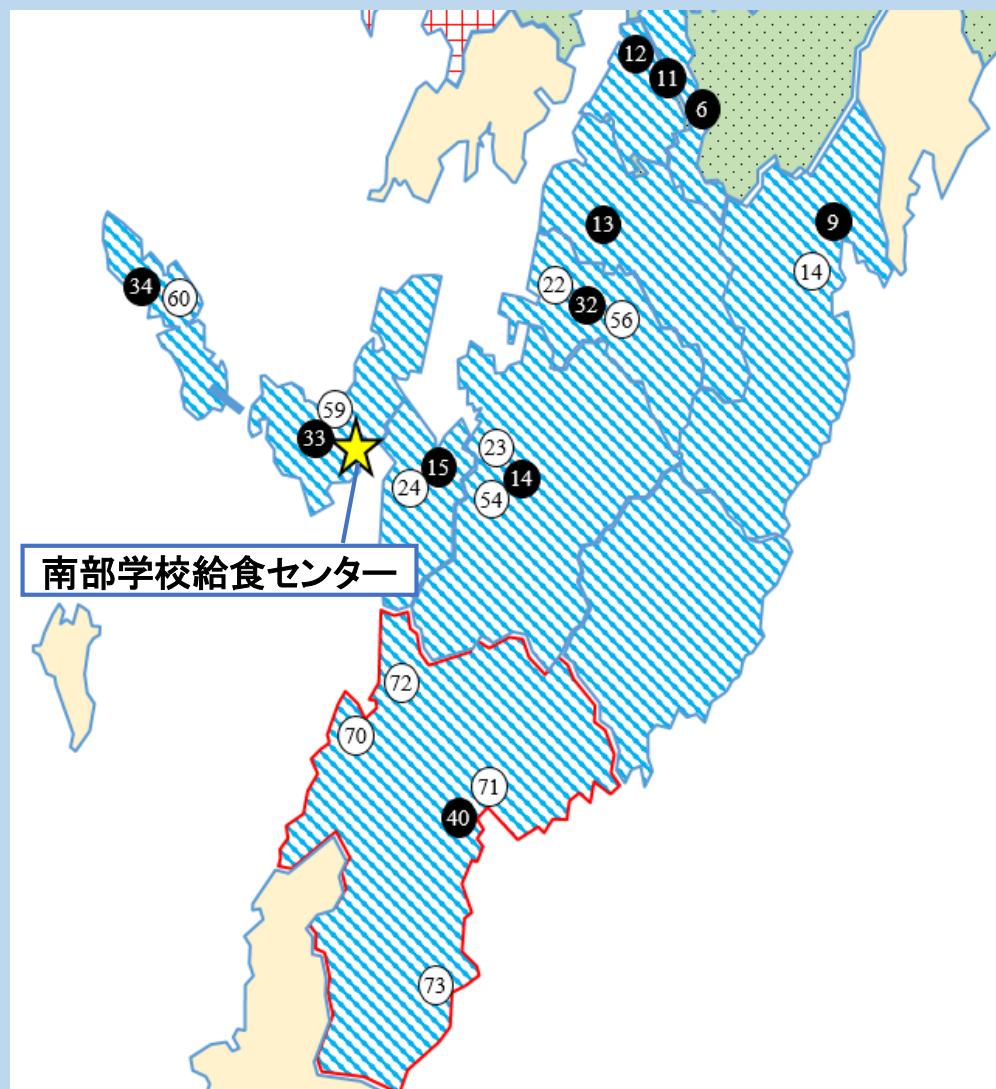
改めて令和7年度の児童・生徒数から令和8年度の食数を推計した結果、三和地区の5校を含めても南部学校給食センターの調理能力内に収まる推計となつたことから、計画を前倒しし、三和地区の5校を配達校に追加するもの。

南部学校給食センター食数(教職員数込)

	配達対象校	R8年度推計食数 (R7年5月時点)
当初配達校	18校（小学校8校、中学校10校）	3, 267食
追 加 校	5校（小学校4校、中学校1校） 蚊焼小学校、為石小学校、晴海台小学校、 川原小学校、三和中学校	601食
合 計	23校（小学校12校、中学校11校）	3, 868食

3 変更の内容(つづき)

イ 取込み後の配送対象校



小学校 学校名	中学校 学校名
(14) 茂木小	(6) 小島中
(22) 小ヶ倉小	(9) 茂木中
(23) 土井首小	(11) 大浦中
(24) 深堀小	(12) 梅香崎中
(54) 南陽小	(13) 戸町中
(56) 南長崎小	(14) 土井首中
(59) 香焼小	(15) 深堀中
(60) 伊王島小	(32) 小ヶ倉中
(70) 蚊焼小	(33) 香焼中
(71) 為石小	(34) 伊王島中
(72) 晴海台小	(40) 三和中
(73) 川原小	

小学校	12校	(+4校)
中学校	11校	(+1校)
合計	23校	(+5校)

3 変更の内容(つづき)

ウ 事業費

(税込)

	項目	増額内容	増額金額
初期経費	建築工事	・洗浄機の仕様変更に伴う床材の変更 ・コンテナー消毒装置増に伴う補強鉄骨追加	2,223,100円
	電気設備工事	・洗浄機の仕様変更、食缶消毒保管機、コンテナー消毒装置増に伴う幹線ケーブル、盤類の追加など	28,200,700円
	機械設備工事	・外気処理能力、空調機能能力の変更など (洗浄機、消毒装置等機器の変更に伴うもの)	8,893,500円
	厨房機器等調達・設置工事	・食缶消毒保管機の追加(6台) ・食器・食缶用コンテナーの追加(7台) ・洗浄機の仕様変更など	35,756,325円
	食缶等の調達	・食缶、食器力ゴ、配膳器具等の追加	8,392,230円
	その他諸経費	・割賦手数料、収入印紙など	1,965,147円
小計(①)			85,431,002円
経常経費	維持管理費 食缶等の更新	・厨房機器維持管理及び保守点検費用 ・食缶、食器力ゴ、配膳器具等更新費用	19,799,977円
	運営費 給食配送・回収	・配送員及び配送補助員(計4名)、配膳員(6名)の増 ・配送車両(2台)調達費用の増など	279,471,566円
	小計(②)		299,271,543円
合計 ① + ②			384,702,545円

3 変更の内容(つづき)

(2) 杭工事の変更

ア 概要

市が公募前(令和3年9月)に実施したボーリング調査結果で、杭の支持地盤の深さは変則的ではあるものの、最大でも23m程度と見込んでいたが、令和6年6月に事業者が実施したボーリング調査の結果、深さが29mの箇所が確認され、杭工事の施工の結果、支持地盤の深さは当初想定より平均で約3.2m深いことが判明した。

支持地盤が深くなる場合、工期延長の可能性も生じることから、当初想定していた工法(オールケーシング工法)を見直し、施工期間を短縮でき、費用面で安価である「Smart-MAGNUM工法」に変更するもの。

イ 事業費

(税込)

項目	増額内容	増額金額
施設整備費(建築工事) ※杭工事のみ	・支持地盤の深さが当初想定より深い場所にあることが判明したことに伴う杭の長さ及び工法等の変更	34,450,130円

3 変更の内容(つづき)

ウ 杭工事工法の変更

比較表

	変更前工法 (オールケーシング工法)	変更後工法 (Smart-MAGNUM工法)
概要図	<p>(出典 東洋テクノ(株)ホームページ掲載資料を一部加工)</p>	<p>(出典 ジャパンパイル(株)ホームページ「施工・製品情報」)</p>
工法分類	場所打ち杭※1	既製杭※2
工法種類	一般工法	認定工法※3
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・1本あたりの施工時間が長い ・騒音、振動が比較的多い ・施工箇所を排土するため、障害物を撤去しながらの杭施工が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・硬い岩盤の掘削は困難 ・騒音、振動ともに比較的小さい ・掘削残土を根固め部等に攪拌利用するため残土処分が少ない
施工日数	約100日	約50日

※1 杭の施工箇所にコンクリートを流し固める手法

※2 杭の施工箇所に既製の杭を打設する手法

※3 国土交通大臣が認定した工法であり、開発会社が指定する事業者の管理のもとで施工が必要な工法

3 変更の内容(つづき)

(3) 増額項目のまとめ

(税込)

	項目	増額内容	増額金額
配 送 校 の 追 加	施設整備費	建築工事 ・洗浄機の仕様変更に伴う床材の変更 ・コンテナー消毒装置増に伴う補強鉄骨追加	2,223,100円
		電気設備工事 ・洗浄機の仕様変更、食缶消毒保管機、コンテナー消毒装置増に伴う幹線ケーブル、盤類の追加など	28,200,700円
		機械設備工事 ・外気処理能力、空調機能能力の変更など (洗浄機、消毒装置等機器の変更に伴うもの)	8,893,500円
		厨房機器等調達・設置工事 ・食缶消毒保管機の追加(6台) ・食器・食缶用コンテナーの追加(7台) ・洗浄機の仕様変更など	35,756,325円
		食缶等の調達 ・食缶、食器力ゴ、配膳器具等の追加	8,392,230円
		その他諸経費 ・割賦手数料、収入印紙など	1,965,147円
	維持管理費	食缶等の更新 ・厨房機器維持管理及び保守点検費用 ・食缶、食器力ゴ、配膳器具等更新費用	19,799,977円
運営費	給食配送・回収	・配送員及び配送補助員(計4名)、配膳員(6名)の増 ・配送車両(2台)調達費用の増など	279,471,566円
杭 工 事	施設整備費	建築工事 ・杭の長さ及び工法等の変更	34,450,130円
合計			419,152,675円

4 スケジュールへの影響

当該変更に伴う工期及び供用開始時期への影響はない。

